

## 平成28年度 鳥取県中部沿岸土砂管理連絡調整会議 議事概要

日 時：平成28年11月15日（火）午前10時から11時30分

場 所：中部総合務所B棟1階会議室

### 1 議事

#### (1) サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

サンドリサイクル実施状況、評価分析、今後の方針を海岸毎に説明。

[検討対象海岸：天神川右岸地区、天神川左岸地区、由良川左岸地区]

<会議での主な意見>

意見) 長瀬地区海岸については、近年、特に侵食が顕著となっているようだが。

回答) 状況を注視しながら、適宜サンドリサイクルを実施するとともに、天神川河口対策と息を合わせて対応をしていきたい。

現対応状況 : 中部県土整備局にて28年度2月にサンドリサイクル(4,800m <sup>3</sup> )を実施。今年度も2月頃に5,000m <sup>3</sup> 対応する予定としている。
--

#### (2) 各管理者の土砂管理への取組

##### ■ 天神川河口砂州の解析(倉吉河川国道事務所)

- ・平成24年12月に河口砂州の閉塞により、周辺が冠水したことを受け、鳥取大学と包括協定を結び、平成27年度から2箇年をかけ、対策検討に係る共同研究を進めているところ。
- ・28年度は、昨年度から引続き深浅・地形測量、波浪観測を実施するとともに、開発した数値モデルの検証と対策案の検討を行っているところ。数値モデルは、現状で大きな出水のデータがないため、妥当性について判断をしかねているところである。
- ・今後は、河口閉塞にかかる具体的な方策を決定していきたいと考えている。

<会議での主な意見>

意見) 天神川総合土砂管理計画を策定されていると思われるが、中流域の砂州について海岸域への土砂活用は検討できないか。

回答) 具体的な方針は出せておらず、実施に至っていない状況である。

### 2 その他

#### ■ S I-C A T (気候変動適応技術社会実装プログラム) の取組について

- ・地球温暖化の影響によって、今後、台風・集中豪雨の災害リスクの増大が避けられない状況。
- ・S I-C A Tは全国の自治体における気候変動適応策の検討に活かせるように、予測技術や適応策の評価を可能とする技術を開発し、社会実装の実現を図ることを目的として文部科学省が公募したプロジェクト。その中のモデル自治体として鳥取県、社会実装機関として鳥取大学が参画している。
- ・当取組みにより海岸で将来的に発生しうる課題(波浪、汀線の変化等)の抽出を行い、適応策の検討していく予定。